

<b>NO.13</b>	団体名	<b>つくろ!の会</b>		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 病に負けない元気なところとからだ作り事業			
事業概要	暮らしを通して家庭の健全育成、地域とのつながり、絆づくり、元気なところとからだ作りを発信しています。			
事業費総額	1,134,917円	助成金額	300,000円	
主な経費内容	講師料、講師交通費・宿泊費、チラシ印刷費、ワークショップ食材、資料代、種・苗代、資料郵送代、保健所収入印紙、会場使用料、チラシデザイン委託料、資料作成委託料、スチール台車、映画上映料、弁当・お茶代、ボランティアスタッフ謝金			

●実施内容

1. 「元気なところとからだをつくるために」講演会実施。テーマ:「大自然の生命力と繋がる食生活」

【日時・場所】6/1 13:30~15:30 文化ホール 【参加者】301人 【講師】吉田俊道

2. 家庭からの生ゴミを減らすためのダンボールコンポスト講座

【日時・場所】5/23 10:00~12:00 蘇原コミュニティセンターそらーら

【参加者】14人 【講師】NPO 法人リサイクルロンド 豊永利香

3. 春夏野菜・秋冬野菜の植え付けを実施。苗は就労支援が必要な団体に依頼した。

【日時・場所】5/17 10:00~12:00 畑 【参加者】15人

【日時・場所】9/13 10:00~12:00 畑 【参加者】15人(大人10人・子5人)

4. 収穫祭を実施。植え付けをした野菜を収穫し、野菜バーベキューをしていただいた。

【日時・場所】8/7 11:00~14:00 畑 【参加者】37人(大人13人・子ども19人)

5. 重ね煮料理講座

基本の重ね煮2種類を作っていた。

【日時・場所】9/18 10:00~14:00 総合福祉会館調理室

【参加者】42人(大人25人・子ども17人)

6. 「元気なところとからだを育むためのシンポジウム」実施

映画「いただきます」上映会、吉田俊道氏、船越康弘氏の講演・コラボトークイベントを実施。

ホワイエでは、「弁当の日」パネル展示、自然派食品等のマルシェを行った。

【日時・場所】11/26 9:30~15:30 各務原市民会館大ホール・ホワイエ

【参加者】431人(他、子ども多数) 【講師】船越康弘・吉田俊道

7. 味噌作り

手前味噌の作り方を、武芸川の農家である田下さんより教わった。

【日時・場所】1/23 10:00~12:00 各務原市総合福祉会館料理室

【参加者】37人(大人20人・子ども17人) 【講師】田下喜代

8. 振り返り会・シェア会(6/27、7/11、12/12 計3回 延べ31人)



●成果

母子同士のつながりの幅が広がった。この活動において知り合えた者同士で持ち寄りのランチ交流会を行っており、これまで一人で育児の悩みを抱えていた母親や、孤立していた母子の数が減ったのでは、と推測できる。“循環型社会のロールモデル”として一石を投じ、市内外問わず育児の孤立の軽減につながった。

自分たちで土を触って野菜を作り、近所の農家さんの野菜等を使つての調理活動では、「普段、家で一人でご飯を作っていたが、みんなで作るとあつという間に作れて、おしゃべりもできて楽しかった」という声が多く得られた。重ね煮の会での“家庭でも取り入れられるか?”というアンケートの問いに対し参加者の100%がYESと回答した。

事業を機に家庭でプランター菜園を取り入れ始めたケースも多く、今後もサポートを続ける。

シンポジウムの後からSDGsを意識する人が増え、活動内外の会話の中でも自然とSDGsの内容に関連した会話が頻繁に出るようになった。CO<sub>2</sub>削減、マイクロプラスチック削減の意識が向上した。食品ロスに対する意識にも変化が見られた。

日々の家庭、育児の悩みから、どんな未来を選択し子どもに託すかなど様々な話題を笑い声を交えながら、学び深め合えるコミュニティが構築されつつあると実感している。

●団体の活動目的・目標

家庭の健全育成。地域とのつながり、絆づくり、元気な身体と心作り。循環型社会のロールモデルとなる活動を目的とする。